

# セルフモニタリング報告書（令和6年度分）

令和 7 年 4 月 30 日

施設名：ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ（沼ノ端スケートセンター）  
 指定管理者名：公益財団法人 苫小牧市スポーツ協会  
 所管課名：総合政策部 スポーツ都市推進課

モニタリング項目	指定管理者コメント	自己評価				
<b>1 事業計画の達成度</b>						
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	第5期事業計画並びに令和6年度事業計画に基づき管理運営を行い問題なく終了した。令和6年度は月1回の事務局会議を行い、第5期事業計画内容の検証や業務効率化、予算の執行状況や施設の利用状況等実態の把握を行ないました。また、安全・安心・快適な空間の確保を目指し、各種点検や施設修繕など積極的に取り組み、市民ニーズの多様化に対応したサービスを提供し、施設の価値を高めて参りました。	A	B	C	D	E
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。	「市民の心身の健全な発達及び体育の普及振興を図る」沼ノ端スケートセンターの設置目的のもと、昨年比、一般滑走・専用利用等で2,724名増加となり、施設全体で過去最高の80,969名の利用となりました。	A	B	C	D	E
施設の設置目的にあった成果は上がっているか（目標値を設定していないその他の施設）。		-	-	-	-	-
自主事業は計画どおり行われたか。	事業計画では、12事業を目標としてしましたが全ての事業を実施いたしました。教育旅行誘致に力を入れ、カーリングの体験をいただきました。また、カーリング競技の普及のためカーリング体験会を実施しましたが、沼ノ端がカーリングのできる施設として認知されるよう、今後もPRしていきます。スケート教室については、10月から1月まで毎月開催し、地域の小学生中心に延べ200名の参加がありました。	A	B	C	D	E
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。	施設前の遊歩道をプランターで彩るコミュニティーガーデンロード事業は、北栄児童センターの子どもたちと共に花植えを行うなど、近隣施設と協働・連携の取り組みを行っております。また、ダイナックスアイスホッケー部の協力をいただき、アイスホッケー教室を開催し、ネーミングライツ企業との協働や連携を図っております。	A	B	C	D	E
<b>2. 利用者の満足度</b>						
利用者の満足が得られているか。	利用者アンケートの結果は、「満足、やや満足」の回答が99.1%。職員への対応に関しては、100%の回答をいただいています。やや不満と回答した利用者の意見に耳を傾け、本年度以上の利用者満足度を得られるよう鋭意努力して参ります。	A	B	C	D	E

利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。	施設内にお客様の声BOXを設置して利用者の意見を把握しています。また、スポーツ協会ホームページお問い合わせフォームからも随時ご意見などをいただける体制となっております。自主事業参加者にはGoogleフォームを利用したアンケートを実施するなど意見をいただく工夫を行っております。	A	B	C	D	E
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。	苦情対策マニュアルにより、苦情受付・経過記録書を作成し、苦情解決責任者へ即座に報告し、解決策を検討し、職員間で情報共有を行っております。苦情の内容は必要に応じスポーツ都市推進課に報告する他、月次報告にて報告を行っております。	A	B	C	D	E
<b>3 管理運営の効率性</b>						
経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。	事務用品や施設用品など消耗品削減に努めている他、予算の比重が高い光熱水費については、こまめな消灯や動力設備の運転方法の工夫、製氷車の機能を最大限に活用し、散水回数を減らす工夫などを行っております。また、会議資料については印刷せずIpadを利用するなどペーパーレス化を進めコスト削減に努めました。重機で行う除雪作業を職員で実施するなどコスト削減に努めました。	A	B	C	D	E
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。	協定書に定められている委託業務は、専門業者に再委託していますが、毎年仕様内容を協議し、見積もりを徴取し、当協会会計規定に則って契約を締結するなど適切に処理されております。	A	B	C	D	E
収入増加のための取組はされているか。	日中の稼働率が低い時間帯の活用を高めるため、教育旅行体験プランのパンフレットを作成や苫小牧市とともに誘致セールス活動にも参画し、スケート体験とカーリング体験について、道外からの誘客を実現し、新たな利用料金収入の確保に努力しました。	A	B	C	D	E
<b>4 適正な管理運営</b>						
職員の能力向上に向けた取組は行われたか（研修等）。	新採用者には採用前に組織・規則・基本的マナーの研修を実施しました。シーズン前には電光掲示板、放送設備の再研修、Airレジの使用方法についてOJT研修を行いました。また、日本アイスホッケー連盟イクイメントマネージャーによるスケート研磨研修を行い、職員の研磨技術向上に努めました。	A	B	C	D	E
安全対策（事故防止等）は十分だったか。	繁忙期や混雑時などの一般滑走利用者の安全対策のために、リンクで滑走しながら監視業務を行う、一般滑走監視ボランティアを配置し、安全対策強化に努めております。また、万が一のためにスポーツファシリティーズ保険に加入しています。滑りやすいリンク上の作業において、職員が転倒する危険性があるため、滑りにくい靴とヘルメットを貸与し、職員の安全対策向上に努めております。	A	B	C	D	E
人員配置及び職員の管理体制は適正か。	管理運営の責任者として正規職員を副館長としております。スタッフ制を導入しており、事務職・技術職にとらわれない業務遂行体制を構築しています。また、事務職・技術職にそれぞれ管理職を配置し全職員を管理できる体制を整えました。	適		不適		

<p>施設の平等な利用等について、適切に処理されているか（使用料の減免、還付含む。）。</p>	<p>施設使用料の減免、還付については、体育施設使用料減免取扱規定に基づき、苫小牧市が主催・共催する事業や障がい者、障がい者団体が利用する際などに施設利用料を減免しております。また、リンクの一般枠については受付方法をホームページで公表し、特定の団体に偏ることの無いよう配慮しています。</p>	<p>適</p>			<p>不適</p>	
<p>利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。</p>	<p>個人情報保護法に基づき当施設の指定管理者として、その保有する個人情報の適正管理に関して、行政機関と同様の義務を負うことを認識しています。必要以上の個人情報は取得しないことはもちろん、必ず事務所内の施錠可能かつ視認不可能な書庫等で保管し、文書保存期間が過ぎた際は、速やかに廃棄しております。</p>	<p>適</p>			<p>不適</p>	
<p>収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。</p>	<p>公益法人会計基準に基づき会計帳簿及び計算書類の作成を行い、予算や決算帳票類は毎年、適切に情報公開されおり、行政庁からの指摘などはありません。また、人件費等の消費税申告業務や決算書類については税理士による確認もされており遅滞なく業務を遂行しております。さらにスポーツ都市推進課が行う実地調査においても指摘事項は無く適正に処理されております。</p>	<p>適</p>			<p>不適</p>	
<p>施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。</p>	<p>冷凍機設備や消防設備など法定点検をはじめ、設備関係の機能保持のための定期点検を設置業者や市内の専門業者に委託し、適正に実施しています。さらに、令和6年度よりセコムによる夜間警備を導入しており設備に異常が発生した際は担当職員に連絡が行くことになっており万全の体制を取っています。破損状況によってスポーツ都市推進課に報告・協議を行い対応しております。</p>	<p>適</p>			<p>不適</p>	
<p>書類・備品等の管理は適正に行われているか。</p>	<p>個人情報など業務上重要な書類については、鍵のかかるキャビネット等に保管しています。また、備品や保管書類等についても鍵のかかる倉庫にて適正に管理を行なっています。備品については、備品台帳により管理を行い、廃棄による手続きは都度スポーツ都市推進課に協議し適正に管理を行なっております。</p>	<p>適</p>			<p>不適</p>	
<p>法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。</p>	<p>地方自治法、消防法、労働関係法、個人情報保護法などの関係法令、苫小牧市スポーツセンター条例、スポーツセンター規則、苫小牧市総合計画、苫小牧市スポーツ推進計画、基本協定書に定める内容を十分理解し、管理運営に努めており適正管理が行われています。</p>	<p>適</p>			<p>不適</p>	
<p><b>5 地域貢献</b></p>						
<p>雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。</p>	<p>職員の雇用については、地元採用を基本としており現在雇用している職員のほとんどが苫小牧市民となっております。また、資材調達や再委託は、地元の業者を優先する他、入札及び見積合せを実施し、経費の削減に努めています。館内の設備等に故障や破損については、利用者への影響を最小限にするために、保守業者と休日の連絡体制を構築しております。</p>	<p>A</p>	<p>B</p>	<p>C</p>	<p>D</p>	<p>E</p>

- A：目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。
- B：目標、事業計画どおり又はそれ以上の取組がされており、管理運営状況は良好である。
- C：概ね目標、事業計画どおり行われており、管理運営も適正で、特段問題は見られない。
- D：目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、又は管理運営において一部不適正な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。
- E：目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

## 総合評価



【★の数が5～0の6段階評価で評価しています。】

### 〈 4 適正な管理運営において不適がある場合、その理由と今後の対応について 〉

#### 指定管理者の自己評価（全体を通して）

私たちスポーツ協会は、公益法人として不特定多数の者の利益を実現することを目的としており、指定管理の基本協定書、法令や条例に基づき、非営利団体として全ての利用者が差別を受けることなく、公平・平等に利用できる施設運営に努めて参りました。

第5期指定管理1年目は安全・安心で快適な施設運営を行うことが出来たと考えております。

今年度は、インターハイや各種大会が当アイスアリーナで開催され万全のリンクコンディションで利用いただくことが出来ました。教育旅行誘致事業では道外からの利用もあり、多くの学生がカーリングの体験をしてきて大変喜ばれました。一般滑走についても多くの方に来場いただいたところですが、混雑時のスムーズな受付方法や利用者のニーズに合わせた貸スケートの種類やサイズ・子供たちが楽しく滑走できる補助具を増やすなど対策をしていければと考えます。

入場者は、インターハイなどの各種大会が全て予定通り開催されたことや合宿の増などで過去最高の80,969名となりました。次年度は最低でも前年度を超えることを目標に集客努力を続けていきます。

私たちは、ダイナックス沼ノ端アイスアリーナを拠点とした、地域のスポーツ普及、振興に取り組んでおり、近隣施設や学校、地域の団体など、ご利用様が気持ちよく来館いただける施設の管理運営が行えたと考えております。現状に満足せず、次年度においては、新たな事業や取り組みに挑戦し市民から必要とされ、市民の健やかな生活に貢献できるよう取り組んでまいります。